

第52回 いじめ・虐待防止 フォーラム



テーマ

子供と向き合う大人に聞いてほしい

令和6年8月18日(日) 13:00 開場/13:30 開始~16:30 終了

新宿区牛込笹笥地域センター・5F コンドル 新宿区笹笥町15番地

入場無料(完全申込制・希望者多数の場合は抽選となります)



【第1部 特別講演】三つ子の魂百まで

講師 高柳信夫氏

東京女学館小学校元副校長、社会福祉法人窓愛園監事、教育立国推進協議会有識者

【第2部 特別講義】「岡田式 AC 判別法®」解説と実例

「あなたのタイプは？」講師 岡田ユキ氏

【第3部 パネルディスカッション】子どもは一生懸命生きている



坂本悠紀子氏

更生保護事業振興財団理事
全国更生保護法人連盟評議員
新宿区更生保護女性会会長



岡田ユキ氏

サークル・ダルメシアン代表
虐待心理研究所所長
「岡田式 AC 判別法®」理論創設者



河内ふみ氏

元新宿区職員・保育園勤務
保育園園長・ライクキッズ株式会社
一男一女の母

ファシリテーター



小川涼太郎氏

株式会社スダチ代表
元アビームコンサルティング PL
「不登校の9割は親が解決できる」著者

★内容に関するお問い合わせ・お申し込みは下記までお願いします★

主催 児童虐待防止の市民活動団体サークル・ダルメシアン

後援 新宿区、新宿区教育委員会、社会福祉法人新宿区社会福祉協議会

新宿区更生保護女性会、東京都ボランティア市民活動センター、虐待心理研究所

一般社団法人虐待防止機構、特定非営利活動法人 Leaves of Grass



申し込み・お問い合わせ先 事務局 090-3342-8562

ホームページ <https://circledalmatian.com/> メール info@circledalmatian.com



お申込みフォーム

第52回 いじめ・虐待防止フォーラム

～ 子供と向き合う大人に聞いてほしい ～

子供は幼いほど、受動的な感覚器官(目・耳・皮膚・鼻・舌)をフル活用して周囲の行動を模倣しようとします。親や他の人々から学ぶことで成長していく、この時期について考察を深めたいと思います。

前回(第51回「自立の重要性と実現に向けたアプローチ」)で、虐待問題の当事者(被害・加害)の特徴やタイプを家庭や社会の中に存在する具体例を交えて説明しました。また、「岡田式 AC 判別法®」によるタイプ分析理論を紹介しました。

パルディスカッションでは、虐待防止解決策の一つとして「自立」の必要性をご紹介いたしました。

今回は、昨今よく使われる「不適切な育児」に対し「みんなそれぞれ違うその子にとって、何が適切な育児なのか?」に焦点を当て情報交換を行います。

特にイギリス出身の精神科医ポウルビィの報告書で

「子供が健やかに成長するためには、3歳までに少なくとも一人の養育者との愛着関係が必要」と唱えた「愛着理論」に対し、厚生白書(平成10年版)では「3歳児神話には、少なくとも合理的な根拠は認められない」とされていますが、

近年の研究では様々なことが…。

さあ、子供との向き合い方を考える機会をご一緒に体験しませんか?



児童虐待防止に取り組む非営利団体として社会で虐待の問題が表面化する以前の1996年から活動を始めました。当時は関連NPOやオレンジリボンなども存在しておらず、児童虐待の予防と啓発活動を通じて機能不全家庭の問題解決に取り組んできました。30年近い活動の中で、原因の一つに親子のコミュニケーション不足の問題があります。社会の最も基本的な構成単位である家庭が戦後の核家族化によって親へ成長する過程への継承が機能不全を起こし、その結果親子の人間関係が築けず「虐待やDV、不登校やひきこもり」といった機能不全を引き起こしていることも判ってきました。



機能不全家庭の問題に直面している人や問題解決の支援を目指す専門家に向けた学びの場として始まりました。数ある既存の心理学を学んできた人、既存の理論等に満足できない人が「岡田式 AC 判別法®」を深く理解することにより、以前は原因や環境を深堀できず、対症療法的な手法で上手くいかなかった問題もスムーズに解決できるようになりました。問題の本質を無駄なく探ることができたことで、多くの問題を解決できる優れた人材を輩出しています。



複雑化しているネットワーク社会や人間関係をCAP専門カウンセラー養成講座で「岡田式 AC 判別法®」を学んだ専門家がより深く探求し、また後進の指導にも当たっています。これまでの多くの事例を解析した結果誕生したMCM(メンタルクロスマッチ)などの心理診断をはじめ、AI等のデジタル技術の活用や遺伝子研究の分野とも協力してさらに心理学的理論と科学的アプローチの相乗効果により、関連法案への提案や政策提言などを通して、より良い社会の実現に貢献していきます。



株式会社スタヂ 小川涼太郎代表

関西大学経済学部を卒業後、アビームコンサルティングでプロジェクトリーダーとして活躍。教育の重要性を感じ、2019年に株式会社スタヂを立ち上げ、不登校支援に取り組む。

2024年6月時点での再登校人数は1000名を超え、平均再登校日数は17日。再登校率は90%を超える。

教育立国推進協議会の有識者として政府への提言や、書籍「不登校の9割は親が解決できる」(PHP研究所)を出版。

